

コトバカっ!



コトバカ
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んで相川藍、下から読んで相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカルっ!

官僚語では失神できない

ある会台への出欠を聞かれたので「前向きに検討します」とメールしたら「後ろ向きに聞こえますね」と返事がきた。鋭い! 行きたくないという気持ちをあっさり見透かされてしまったのだ。

「前向きに検討する」は、いわゆる官僚語。ふだん政治家のこういう発言にいらだっているのに、まさか自分でも無意識に使っていたとは。「真摯に受け止める」「早急に対応を協議する」「鋭意努力する」「万全の措置を講じる」などの言い方もあるけれど、前向きな言葉でありながら、もったいぶっているだけで何もしないって感じのごまかしや空しささげ漂う。

もったいぶった前向きな言葉は、ビジネスでもよく使われる。最近気になっているのが「気づき」で「このセミナーを受けると新たな気づきが得られます」というように使われている。「〜に気づく」ならわかりやすいが「気づきを得る」って一体何に気づくんのだ? 簡単な動詞を名詞にするだけで、なんだか意味深。「癒やし」が広辞苑に載るようになったくらいだから「気づき」もそのうち載るかもしれないけど。

気の置けない仲間うちの会話が楽しいのは、仕事上で使わざるを得ないビジネス用語の反動だと思う。私もプライベートな友人グループで、好きなことを言いたい放題のメールのやりとりをしているが、先日メンバーのひとりが使っていた「即死」という言葉にストンときてしまった。この手のスラングの是非はともかく、彼女はこう書いていた。「竹野内豊にあの声で『ドラえもんメガネ貸して』なんて言われたら即死♡」

ドラえもんメガネの説明は割愛するが、彼女がいかに竹之内豊に夢中であるかが伝わってくるのと同時に、これを読んだメンバー全員が、好きな人にセクシーボイスで何気ないことを囁かれた瞬間の、失神しそうな胸の高鳴りを思い出したはず!(たぶん)

私たちは、もったいぶった官僚語やビジネスメールに疲れている。竹野内豊(じゃなくてもいいが)に耳元で囁かれ、即死したい気分なのである。

相川藍(言葉家)

丸の内文学賞(大賞)、朝日広告賞(最高賞)、インターネット書評コンテスト(最優秀賞)受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。